

# 区の基金は637億円にも

## 基金を区民のくらし支援に

中野区の基金残高は637億円と区政史上最高額を更新中。区民には虚構の「財政難」を振りまいて、負担増とサービスの削減、切実な要求にはまともに応えず、基金の貯めこみに奔走。自民・公明などがあおってきました。

日本共産党は今度の区議会でも、基金の5%（約31億円）を活用した「区民のくらし第一」への予算組み替えを提案しました。

日本共産党

## 誰でも安心して受けられる医療・介護を

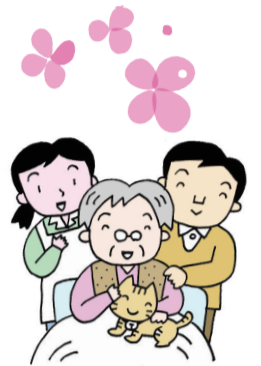
区内にある特養ホームの待機者だけで784人（昨年4月）。「必要になった時に介護を受けられるのか」と不安の声が聞かれます。

高い用地費が増設を妨げています。中野では、共産党都議団が提案した都有地活用の制度で、新たな特養ホームの設置が決まるなど大事な成果に結びつきました。

しかし、認知症グループホームなどを含む高齢者施設全体としては設置目標を大きく下回っています。低賃金で介護人材の確保も困難で

す。都や国への低賃金是正の働きかけなどが不可欠です。民間任せにせず、区が自らの責任で対策に乗り出すことが重要です。

国保料の値上げは、新年度で15年連続。高すぎる国保料で、加入世帯の3分の1が滞納せざるを得ない状況です。皆保険制度を下支えしている国保に、国の負担責任を果たせるとともに、都の財政支援、区のいっそうの財政支出が求められます。



## 認可保育園をもっと/学校給食の無償化を中野も



認可保育園を求める声は切実です。それにもかかわらず、新年度は前の年度を上回る待機児がでることが確実です。区は2016年、1065人分の保育園増設計画を掲げましたが、結果は331人分。第1次募集では4割超の申し込みが不承諾となりました。

石原知事以来、都は認可保育園の設置を拒み、これに自民党・公明党などが賛成してきました。共産党は

「都有地の活用を」と具体的な場所も示して提案。この4年間で設置が大きく進みました。さらに、都にも中野区にも増設を急がせます。

「子どもの貧困」問題も深刻です。共産党区議団は、学校給食の無償化を提案しました。全国でも実施自治体が広がっており、子どもたちのために中野区でも1日も早く実施すべきです。

## まち壊しの道路ではなく、耐震・不燃化補助を

東京都は「特定整備路線」などの道路建設に年間2千億円から3千億円を使っています。中には半世紀以上眠っていた計画も数多く含まれていて住民には「寝耳に水」。

中野区では12か所もが計画化の対象になっています。都も区も「延焼を防ぐためには、広い道路が必要」と言いますが、その道路建設で多

くの人が追い出されてしまえば意味がありません。住民の声を尊重すべきです。

共産党は地域の人々の生活を大事にしつつ、効果的に震災を防ぐ対策をと、住宅の耐震・不燃化への助成、感震ブレイカーの設置補助などを進めることを提案しています。

## 平和の森公園再整備情報がくし

### 「整備費を全面開示すべき」(審査会)

中野区情報公開・個人情報保護審査会による「全面開示すべき」という1月18日の答申により、区が不開示にした情報が公開されました。平和の森公園再整備に関わる業務を受託した(株)日本設計から区への「報告書」の一部です。

そこには区が一度は黒塗りとした概算工事費が示され、当初示した55億円を大きく上回る費

用が記されていました。区は、昨年5月のパブリックコメント前に区民と議会に概算費用を示すことができたのにしなかったのです。これは明らかに中野区自治基本条例違反です。

瑕疵があっても改めず、説明責任も果たさずに公園再整備を強行するなど断じて認められません。

金額も図面も黒塗りだらけ。当初中野区から開示された文書の一部。

